

虐待児童

大泉 香織

あれは生まれてすぐのことだった

何も知らなかった俺に 風が吹いた時

すぐにわかったんだ

また一人 誕生してしまった

この世の中に この世の人々すべてに

望まれない人間が生まれたことに

もう充分だろう

それでも俺は 何十年も生きてきた

もういいだろう そう告げてくれ 神様

時々 悪魔が俺に囁いた

お前を傷つけた人間を 殺せ 傷つけろ と

でも俺は誰も殺しはしなかった

傷つけることさえ出来なかった

善人だからじゃない 弱虫の腰抜けだったから

この世の中に この世の人々すべてに

牙を剥き けどただ震えているだけだった

もう充分だろう

それでも俺は 今まで生きてきた

ろくでもない人生を 生きてきた

もう充分だよ そう告げてくれ 誰か

最後まで誰も 俺を選びはしなかった
愛されることも 必要とされることも なかった
俺は愛しても助けを呼んでも そっぽを向かれた
それでもよろよろと生きてきた
何も持たずに 背負いもせずにやってきた
この世の中に この世の人々すべてに
求められることもなく いつも独りだった

もう充分だろう

それでも俺は これまで生きてきた

こめかみに当てた銃口の 引き金を引いていい
誰でもいい そう告げてくれ この俺に